



札幌部会(第15回)

日時:	2016年5月21日(土) 14:30-17:00
場所:	Sapporo55ビル 5階 キャリアバンクセミナールーム
参加者:	野間(同志社大)、濱地(道教大札幌校)、川瀬(札幌旭丘高)、吉川(千歳北陽高)、藤倉(札幌清田高)、中村(札幌光星高)、奈良(藤女子中高)、山下(札幌市立簾舞中)、兼間(札幌市立東栄中)、鈴木(留萌市立留萌中)、竹内(日高町立日高中)、吉岡(北見市立東陵中)、飯高(札幌市立東月寒中)、大上(道教大札幌校教職大学院生)、山崎(北見北斗高)[順不同]

【内容要旨】

- 野間先生より、今年度の「夏休み経済教室」のチラシ案をもとに、現時点でのプログラム予定についての説明が行われた。そして、加藤一誠先生作成による「公共料金について(メモ)」を用い、自然独占と人為的独占の区別など、東京部会での議論内容についての紹介が行われた。
- 川瀬先生より、今年3月実施の北海道公立高校入試問題が提示され、参加者たちで議論が行われた。特に、「需要量が供給量を上回った場合の価格の決まり方」の問題に関連して、需要の変化(シフト)と需要量の変化(曲線上の変化)、供給の変化(シフト)と供給量の変化(曲線上の変化)の混同についての議論が中心となり、年次大会で栗原久先生も同様の指摘をしていたという報告があった。
- 山崎より、「思考実験としての価格の形成」の授業案の提示があり、改善に向けて意見交換が行われた。この授業の大まかな流れは、「①ランダム配布の紙幣と百均の商品3点を使い、『競り下げ型オークション』によって『需要・供給曲線』を導出すること→②紙幣を増額し、貨幣インフレの状態にして同じく『競り下げ型オークション』によって『需要曲線』のシフトをつかませること」である。話し合いを通じて、供給曲線をどうつかませるかが課題とされ、野間先生からは「供給曲線」をはじめから立てておき、同じ商品を何点か用意して事前に知らせないようにすると良いのではというアドバイスがあった。今後、実際にシミュレーションを行って、さらなる改善を加えていくこととなった。
- 山下先生より、「経済教育ネットワーク年次大会に参加して」の資料と、当日のスライドをもとに、年次大会の報告が行われた。また、教科書研究プロジェクトに関わって、「平成28年度使用中学校公民的分野教科書経済単元の記述内容の比較・分析」の資料をもとに、作業分担と作業手順の確認が行われた。
- 各自、自己紹介及び近況報告が行われた。近況報告の中で、7月に迫る参議院議員選挙についての関心が高く、川瀬先生から関連著書として、北海道高等学校教育経営研究会『高校生を主権者に育てる』(学事出版)が紹介された。また、野間先生からは、他地域の部会参加に関する案内がなされた。

(文責:北海道北見北斗高等学校 山崎 辰也)



次回開催予定: 日時は、9月17日(土)14:30~17:00。場所は、Sapporo55ビル5階キャリアバンクセミナー
ーム。内容は、「夏の経済教室」の振り返り、参加者からの活動報告等を予定。